



ジャンボ通信Vol. 7

2005.5.5

ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾2000 編集：ジャンボ環境塾
 住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
 なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
 URL:<http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
 E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
 メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

2005年「もっともっと環境塾2000」総会!!!

少し遅い桜が満開だと思ったら、もう若葉の鮮やかな季節になってしまいました。みなさま、いかがお過ごしですか。さて、今回はまもなく開催される2005年総会のご案内です。昨年度の活動を振り返り、今後の活動の方向を話し合いたいと思います。お忙しいかとは思いますが、多数の方の参加をお待ちしております。

日時：5月21日(土) 13:30~15:30
 場所：名古屋市リサイクル推進センター 3R会議室
 (お手数ですが、別紙の返信用紙を期日までに郵送・FAXしてください。MAILも可。)

活動実績 2005年1月~

2005/4/9(土) 環境塾修了生プロジェクト会議
 2005/3/20(土) なごやエコキッズ環境サポーター交流会
 2005/3/19(土) 3月 定例会
 2005/2/26(土) 2月 定例会
 2005/2/22(火) 「カンちゃんのダメダメ日記」 名古屋市立道徳小学校
 2005/2/9(水) 「カンちゃんのダメダメ日記」 名古屋市立庄内小学校
 2005/1/23(土) 1月 定例会



05/2/22 道徳小
香港テレビ取材陣と

2004年度 活動実績のまとめ

お題企画

「カンちゃんのダメダメ日記」 10回(昨年比 - 3)
 [小学校8回(昨年比 ±0)、水の王国フェスティバル、うみみなフェスタ]
 「キッズISO プログラム温暖化」実施 3回 (新規事業・なごやエコキッズ環境サポーター登録)

この指とまれ企画

「カンちゃんのダメダメ日記」絵本完成
 愛・地球博「環境絵本」応募(瀬戸愛知県館コラボレーション空間 にぎわいの里にて展示中)

その他

- ・NPOと愛知県の協働推進に向けた共同声明署名
- ・環境デーなごや2004「エコパルなごや」ブースに参加
- ・JICA スリランカ研修生「市民による環境問題への取り組み」研修会・講師
- ・なごや環境塾 交流会 参加

4月、学校や役所では新年度を迎え、就職・進学など様々な新しい変化があります。みなさんの身近なところではどうでしょうか。あの人がどうしてるかな？お元気かな？今、何しているんだろう？そんな疑問に答えられるよう、メンバーの声を聞いてみました。

ジャンボ！

(文:T.Si)

すっかり、もっと2をご無沙汰している、Sです。
でも、もっと2と同じ活動を、今では会社の中でやっていますよ。

皆さんもご存知の「グリーンプロモーション」という助成プログラムは、この3年間で20団体に助成してきました。2年目からは、社員参加の仕組みも作り、2年間で、のべ400人の社員が市民活動を体験しています。

社内でやってる「E-ことプロジェクト」という活動は、もっと2の活動そのものです。

「もっと、こうしたらいいのに」という思いをもっている社員が、社内でも活躍できる場をつくることを目的にしています。月一回、E-こと委員会を開催し、いろんなアイデアをカタチにしてみました。その中から生まれた制度の一つに最近話題になり始めた「分別ソムリエ」があります。

分別ソムリエとは、「正しい分別行動ができ、その根拠を自分の言葉で語り、他の人に伝えることができる人」を意味します。昨年3月に生まれ、この2月には二期生も誕生し、今では38名が社内外で活躍をしています。

ねっ、やってることはもっと2と同じでしょ。
大切なのは、遊び心と学び心、これは、どんな時でも、変わらないですよ。

時間があれば、リコー中部の環境HPをのぞいてみてください。
<http://www.r-chubu.ricoh.co.jp/ecology>



近況

(文:M.Sa)

みなさん、こんにちは。今日4月10日、知り合いに誘われて大曽根の商店街で国際交流イベントがあつてお手伝いに行ってきました。この日はインドネシアの国の紹介で、舞踊と食べ物の販売などを行いました。バリの舞踊は瞑想的で魅力に溢れ、素敵でした。

ところでインドネシアと日本を結ぶ関係深～い食べ物って何だと思いませんか？

答えは・・・えび。きっとほかにも多々あると思いますが、環境問題と国際問題の両面を考えたとき、えびは身近に考えられる題材の一つだと思います。

日本に輸出される半分以上のえびは狭いところでたくさん生産する集約養殖場で育ちます。これは海辺のマングローブ林を伐採して行われ、生物の多様性の宝庫である湿地帯を破壊していきます。またここで育ったえびは大量の人工飼料を食べ、池に酸素を補給するため動力の羽車が回転し、土の劣化を防ぐため化学肥料も投入されます。お金もかかり、エネルギーも無駄に使います。さらにえびの冷凍工場働く労働者の賃金はとても低いそうです。

いいことなんて一つもないのに、私たちはあつて当たり前のように購入して食べていると思いませんか？悪気なく、でも確かに勘違いしてますよね。安全性や公平さを考えたらきっと今のえびの収穫量は存在しないのではないかと思います。大商社が輸入した、安いえびの背景に横たわる生産、流通システムのさまざまな問題を決して無視することなく敏感にキャッチできるような賢い消費者になりたいと思います。

私はその実践の一つの方法がフェアトレードだと思っています。日本では生鮮食品のフェアトレードの取り組みは80年代から始まったらしく、自然を活かした粗放養殖で育ったえびを輸入しているそうです。いつの日か、「養殖別表示」がされたえびがスーパーの店頭に並んだりしたら私たち消費者の意識も変化するんじゃないかなと思いました。

今回の原稿を書かせてもらうにあたり、素敵な本に巡りあいました。機会があつた是非よんでください。子供にも読みやすい漫画版です。(岩波書店・出雲公三著・「バナナとエビとわたしたち」840円)

愛・地球博長久手会場から

(文:A.Mu)

日本で2回目の万博が愛知県で開催されています。環境博ともいわれるだけあって、随所に環境に関する取組みがなされており、そこを見学するバックヤードツアーも人気を博しているとのこと。

私は長久手会場にある企業パビリオンに在籍している関係で、企業や行政のパビリオンを事前に見る機会がありました。環境問題を真正面から取りあげているところもありますし、優しく心にフックをかけるところもあります。私のいるパビリオンでは「エネルギーの大切さ」を家族連れ、とりわけ次世代層に伝えたいと考えています。

大きなパビリオンでは、東京を始め日本各地から集まった多くの関係者が交替で運営しています。会場内ではごみ資源を17分類にすることになっていますが、分別していない地域の方には初めての経験。こうしたことも環境を全国に着実に広げる副次効果かもしれません。

愛・地球博で、「自然の大切さ」「身近な環境の取組み」「エネルギーと環境」等を楽しく家族で学ぶ機会としていただければ幸いです。特に環境に造詣の深い皆さんが見ると、「う～ん、なるほど」と気づくことが満載。

来場をお待ちしています。

<注>バックヤードツアー情報

<http://www.epoc.gr.jp/expo/backyard/gaiyo.html>



05/3月 見学会にて

PTA 会長？快調？

(文:A.Mi)

昨年の4月に植田南小学校のPTA会長を仰せつかって1年。本当に忙しい1年でした。

入学式と卒業式に顔を出せばいいからと口説かれたものの、ふたを開けてみるとPTA会議に加え、研修会、懇親会、学区行事などなど…。特に4年前から始まった「うえみなフェスタ」は企画から実施まで全てPTAで行う行事のため、何回も会議を開いて準備しました。

第4回となる今回は、私の独断で“環境”をテーマに掲げ、子供たちに少しでも環境に興味を持ってもらえるような楽しい企画をと、半年前から準備をし、昨年11月28日(日)に植田南小学校で開催しました。

当日は約200人のスタッフのもと、入場者約1300人と大盛況で、地球温暖化の話に耳を傾ける子、牛乳パックで手すきはがきを作ったり、ゴミ分別の達人を目指してクイズに挑戦する子など、約20設けたイベント会場はどこも熱気でいっぱいでした。勿論その中の一つは「もっと2」の「カンちゃんのダメダメ日記」です。

心配した事故も無く大盛況のうちに終了することができましたが、何をやるにしても、先生、保護者をはじめ、地域の皆さんとの日頃のコミュニケーションの大切さを痛感しました。

卒業式、入学式も何とか無事終了し、4月末のPTA総会を経て新会長に引き継ぐこととなります。「ジャンボ」が届く頃には、晴れて自由の身？です。

今年は、もう少し「もっと2」に関われるかも。今後ともよろしくお願いします。

追伸

4月1日付の移動で、勤務場所が南消防署から千種消防署に変わりました。Aさんのお膝元です。



04/11月 うえみなフェスタ

環境塾修了生プロジェクト会議～イオンの『エコインフォメーション』のワークショップ開催～

4月9日(土) 伏見ライフプラザ3階 会議室・市民研修室

千種区のサッポロビール工場跡地に建設中の『イオン千種ショッピングセンター』は、イオン初の『エコストア』となるそうです。ハード面では、風力発電、壁面緑化などを取り入れたり、床材に再生材を利用したりと環境に配慮した建物になるそうです。店内にも【エコインフォメーション】を設け、環境に関する展示、学習、イベントなど、何かできないかを模索中ということで、その企画に、環境塾修了生の知恵やチカラを貸してもらえないかという提案が投げかけられました。

そこで、この提案に関心を持った1期から5期までの人たち26名が、プロジェクト会議に参加しました。(“もっと2”からは、Aさん、Sさん、Hさん、Nさん、Aの5名が参加)

第1回目は、とにかくアイデアを出し合うということで、ワークショップ形式で行われました。修了生間の交流も図れるように、各期の参加者を、4つのグループに均等になるように分けました。それぞれのグループの特色も出て、面白いアイデアがいっぱい出されましたが、やはり、ショッピングセンターの一角での行うことなので、それを生かしたことをやりたいということは共通していたようです。展示、地産地消のものでのエコクッキング、スーパーで出る容器包装を知ろう、お店の裏側を見る、買い物ゲーム、ピオトープを作る、スタンプラリー、消費者とお店のパイプ役になるような調査、アンケートなどなど…アイデアはつきません。

会議には、イオン側からも、担当者の方が参加され、最後に感想を述べられました。「条件をクリアしなければならないこともあります、大半が実現可能のアイデアでした。役割分担など、詰めるべきことはたくさんありますが、無理の無い範囲で、実現していけたらと思います。子どもが対象とばかり思っていました、皆さんの意見を聞いているうちに、大人向けという発想も必要だと気づきました。こんなに、みなさんが、熱心に参加してくださるとは思っていなかったので、気を引き締めて、今後も、詰めていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。」

企業と市民の、“協働”の新しい形として、また、環境塾修了生の交流のきっかけにこのプロジェクトを育てていけたらいいですね。

随時、情報を流してきますので、関心のある方は、いつでも、参加してください。

(文:K.A)

お知らせ掲示板

- ・ 6月4日(土) 「カンちゃんのダメダメ日記」 なごや水フェスタ ささしまサテライト会場
 - ・ 6月定例会 6月18日(土) 13:30～15:30 市リサイクル推進センター3R会議室
 - ・ 環境塾修了生プロジェクト(イオン千種SC エコインフォメーション企画)が進行中。(参考:上記報告)
- * 以上、参加者募集中。詳細は、Aまでお願いします。



編集後記

ジャンボ通信 VOL.7。いかがでしたか。懐かしい会員の多方面にわたる活躍は、さすが「もっと2」のパワーを感じます。

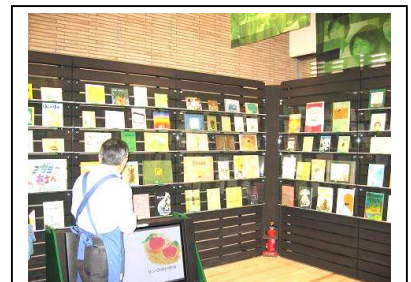
新しい年度となり、また一步、少しでも新しい未来に向かって進むことができるとうれしいと思います。

愛・地球博が開催され、「カンちゃん」絵本は瀬戸・愛知県館でのガラスケースの中と、複製絵本が手に取ってみることができる本棚に展示されています。よかったら瀬戸会場に足を延ばして、会っててください。

人の賑わいが毎日のように伝えられる愛・地球博。名古屋の元気さが報道されています。私たち市民にとっては、地球市民村や瀬戸会場などの市民活動の場がとても参考になると思います。また、そのような場所に大勢の人がじっくりと参加することに、市民が「環境問題」に本当に気づく第一歩であり、『自然の叢智』に近づくことができると思います。

さあ、「もっと2」が今後何をしていくのか、ぜひ語り合しましょう。

(BY ドクダー)



121番 上から3段目
中央のカドが「カンちゃん」絵本
(photo by Y)

もっとも
2000
環境塾